

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[26]歳、 勤続年数[6]年、 現場経験年数[6] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者 B	年齢[22]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[2]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1 . 事例発生の経過。

.....

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	当事者 A	集塵機開口部を開放した	
経過 2	当事者 A	トビ口にて木屑を除去	
経過 3	当事者 A	外に舞い上がった木屑に引火	
経過 4	当事者 B	危険を感じた援護注水者が避難	
経過 5	当事者 A	自己確保のため瞬時に避難できず	
経過 6	当事者 A	近くにあったホースにて消火を実施	
経過 7	当事者 A	怪我は無かったが、一瞬炎に包まれた	
経過 8	当事者 A	消火後、階段にて安全な場所へ移動	
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

- 事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？
ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

- ## ○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c . 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d . 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○ 装備・資機材について

e . 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○ 活動環境について

f . 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g . 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h . 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○ 指揮・管理について

i . 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

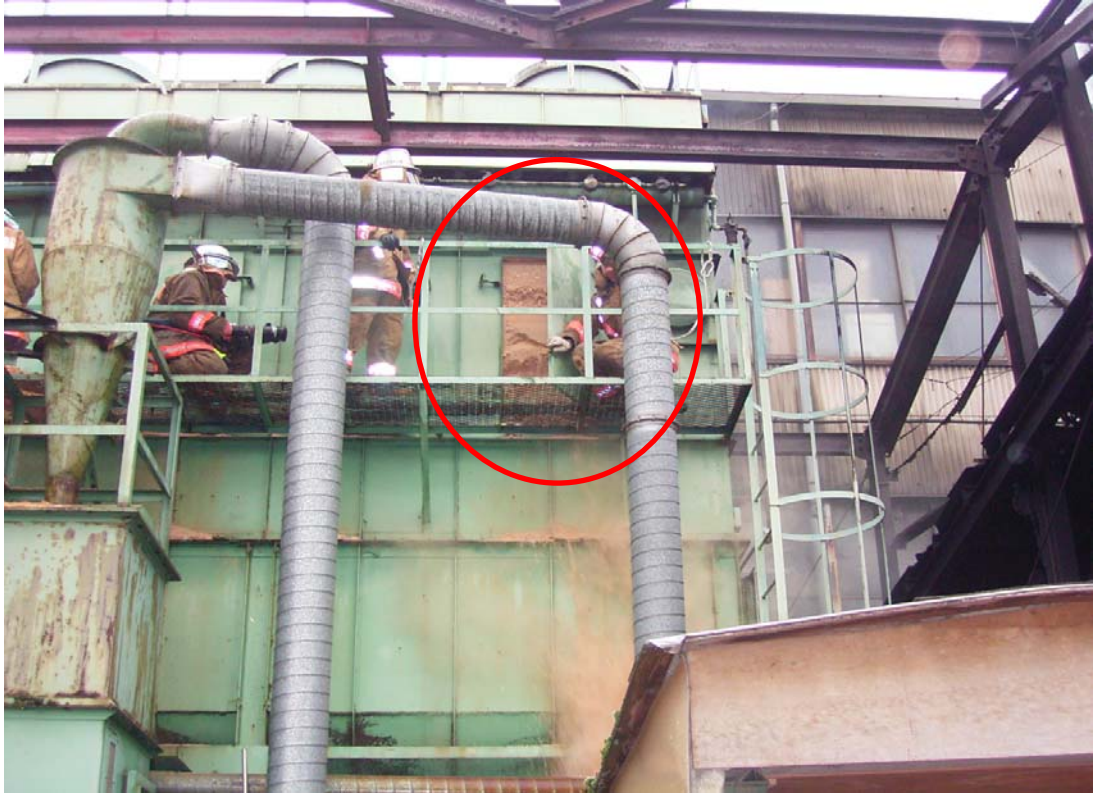
k . 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○ その他

l . その他の理由があった。

いいえ



○ヒヤリハット事例:木製品加工機用集塵機内火災の異常熱燃
(同様の体験は、初めて体験した。)

(07H0077)

・発生日時 :平成18年6月15日 午後3時頃

経過	現場の状況	隊員A	隊員B	備考
		隊員／消防士 ・年齢 26 歳 ・勤続 6 年 ・現場 6 年 ・同様の活動: 初めて	隊員／消防士 ・年齢 22 歳 ・勤続 2 年 ・現場 2 年 ・同様の活動: 初めて	
	<pre> graph TD A[木製品加工機用集塵機内火災] --> B[高所作業のために自己確保を行っていた。] B --> C[集塵機開口部を開放した。] C --> D[トビロにて木屑を除去。] D --> E[外に舞い上がった木屑に引火、延焼。] E --> F[隊員に炎が迫る。] F --> G[自己確保のロープのため瞬時に避難できず。] G --> H[近くにあったホースにて消火を実施。] H --> I[怪我は無かったが、一瞬炎に包まれた。] I --> J[消火後、階段にて安全な場所へ移動。] K[天候は雨] L[位置が悪く援護注水が瞬時に出来なかった。] M[援護注水の欠如] N[危険を感じた援護注水者が避難。] F --> N N --> L L --> M M --> G </pre>			

◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○直接的な原因: 状況判断に問題があった。
・たまたま、負傷事故にならなかった。

◎ヒヤリハットが起きた背後要因

- ・(心理・体調について)
- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。
- ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。
- ・(装備・資機材について)
- ・装備・資機材自体に問題があった。
- ・(活動環境について)
- ・狭隘な場所であった。
- ・足元が躓いたり滑りやすかった。
- ・(指揮・管理について)
- ・隊員の連携が不十分だった。